

経営会議・会議録概要

I、日 時 令和5年1月4日(水) 午前11時00分～11時20分

II、場 所 委員会室

III、出席者 経営会議構成員、政策推進部総括次長兼行政サービス向上室課長、
政策推進部財政課長、政策推進部戦略企画課長、同課長補佐、
同係員

IV、案 件

- 1 令和5年仕事始めにあたって
- 2 令和5年度当初予算編成について
- 3 その他

V、内 容

【副市長】

- 経営会議を開催する。
- それでは市長より新年のあいさつを頂戴する。

【市長】

- 今年の干支である兔年は、上り坂に強いということから、上昇すると言われている。それまでの準備が花開くと言われている年である。
- また、今年の干支は癸卯(みずのとう)で「きぼう」とも呼ぶ。漢字は異なるが、希望の年という言葉のとおり、希望あふれる1年にしていければと思っている。
- 本日の仕事始めの前に、危機管理室の職員が毎月行っている清掃活動を見て誇らしく思った。
- 年末年始に業務に従事された皆さんが多くおられたことを大変誇らしく思うとともに、感謝申し上げたい。
- 大阪の夜空を見上げると真っ暗である。しかし目を凝らすと、かすかに星が見えてくる。そこに星があると知らないとじっくりと見ない。
- 近くにある小さなものはしっかりと光を当てないと見えないし、遠くにあるかすかな光も後ろを真っ黒にしないと見えない。
- これと同じように、そこにあるという信念を持ち、何とかして、見出そう、見つけよう、そして見定めよう、こんな思いをもって、仕事をすることによって、市民一人ひとり

に寄り添えるような仕事ができるのではないか。

- フィールドで戦う一人ひとりは一生涯懸命、力を抜くことなく戦っている。
- その一人ひとりの努力、尽力、忠誠心、ロイヤリティ、こういったものに報いるために上司として何をすべきか、上司同士として何をすべきなのか、一人ひとりの力をうまく足し合わせているか、うまくかけあわせているかということを見るとともに、マイナスになっていないか、お互いが相殺していないか、効率がよい仕事を提供できているか、このように、そこに何かあるに違いないと思ってじっくりと見つめ、見出していくような1年にしていただければと思っている。

【副市長】

- それでは、「令和5年度当初予算編成」について報告を願う。

【政策推進部長】

- 令和5年度の予算編成方針においては、「政策目的とは何か、目的を達成するにはどのような事業が必要か、また公民連携やDXをはじめとする数ある手段から最適な手段は何かについて、今一度各部各課が熟考し、立案し、実行していく“過程”を重視した予算編成を行う。」としている。
- また、方針として、第一に今後の社会動向を見据えて、中長期的な視点で本市が抱える課題を分析し、課題を解決するための政策目的を設定すること、第二に「論理的・客観的な政策立案」として、前例や感覚に拠らず、データ等の「エビデンス(根拠)」をもとに、論理的・客観的に組み立てること、第三にすべての事業及び経費について、EBPMの観点から公民連携の可能性及びICTの活用を検討することが示されている。
- 本方針に基づき、論理的・客観的な政策立案を経た上で、事業の優先順位をしっかりと精査・検証し、要求がなされていたか、査定内容から再考いただきたい。

《配付資料に沿って説明》

【政策推進部長】

- 当初予算額は500億円を超え、当初予算として実質過去最大の規模となっている。市税に回復傾向が見られるものの、それを上回る歳出の増加により、多額の基金の取り崩しや市債の発行で予算編成を行っている。

- 厳しい財政状況であることを理解していただき、協力をお願いします。

【副市長】

- ただいまの説明で意見、質問はあるか。

【市長】

- 基金を取り崩して過去最大の予算規模になっている要因をもう少し丁寧に説明する方が、皆さんの理解が進むのではないか。

【政策推進部長】

- 来年度はこれまで色々なことを着実に進めてきたことが花開く年である。公民連携や ICT、社会保障関係など、これまで積み重ねてきた事業が大きく形となっているのが来年度予算である。過去最大の予算規模であり、基金を取り崩しているとはいえ、ふるさと納税が他市と比較しても潤沢に入ってきており、有効活用していることから、財政的に危機という訳ではないことを理解していただきたい。

【副市長】

- 本日の会議には財政課長が出席している。今回の予算編成で苦労されたことなどはあったか。

【財政課長】

- なぜこの予算が認められないのかといった気持ちが出てくると思うが、私たちは予算要求されたすべてを要求通り認めたいと思って取り組んでいる。
- しかし、限りある財源であることから査定していることを理解していただきたい。
- ふるさと納税が好調であることから、積極的に活用し予算編成を行った。
- 財政課としては、皆さんのご意見をお聞きしながら、今後も予算編成を行っていきたいので協力をお願いします。

【副市長】

- 教育長、何かあるか。

【教育長】

- 教育関連の予算では、子どもたちの安全安心を確保するために大切なハード面だけでなく、ソフト面にも配慮いただき、大東市の未来を作っていくということが反映された予算になっていると思っている。

【副市長】

- 他に何かないか。

【副市長】

- それでは、これにて経営会議を閉会する。

(以上)